

第二回

掛軸と絵画の

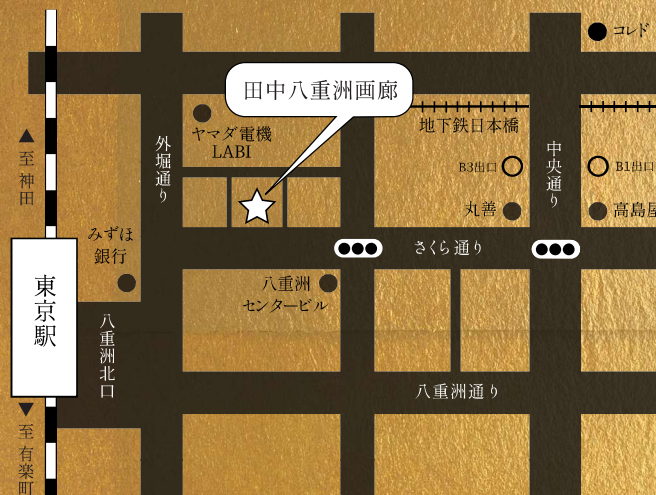
～美大生と表具師
紙文化を未来へつなぐ～

2020
11.24(火)
～
11.29(日)

田中八重洲画廊

－ 主催 －
江戸表具研究会表粋会

未来展



主催 - 江戸表具研究会表粋会
期間 - 2020年11月24日(火)～11月29日(日)
10:30～19:00(最終日は18:00まで)
会場 - 田中八重洲画廊
〒103-0028
東京都中央区八重洲1-5-15田中八重洲ビル 1階
後援 - 一般社団法人 東京表具経師内装文化協会
協賛 - 一般財団法人 世界紙文化遺産支援財団 紙守
協力 - 株式会社マスマス東京

皆様の健康と安全に配慮しながら、感染症対策に取り組んで参ります。

クラウドファンディング (期間:11/1～12/6)

クラウドファンディングを利用し、本企画にご
賛同・ご支援いただける方を広く募ります。
支援者様には金額に応じて返礼品を用意し
ております。

【未来のアーティストと表具師のコラボで
伝統文化の未来を切り拓きたい!】



詳細 - <https://camp-fire.jp/projects/view/239942>
お問い合わせ: hyousuikai@gmail.com

開催にあたり

このたび私ども表粋会は、都内の美術系大学の学生
らと協働し、掛軸文化の未来を切り拓くための作品展を
開催致します。

これは2018年に開催し、各方面から大きな反響のあ
った「掛軸と絵画のミライ展」のコンセプトを継承・発展さ
せ、より多くの皆様に掛軸の魅力に触れていただく機会
になればとの思いで企画したものです。

本作品展において、学生らは「掛軸にするための絵」と
いうテーマで新作を制作し、それを伝統技法の継承を
志す弊会所属の表具師が掛軸に仕立てました。学生と
表具師が感性を競い合い、また融合する、かつてないか
たちの作品展を、多くの皆様にご高覧いただきたくお願
い申し上げます。

紙文化を未来へつなぐ

「掛軸」と「絵画」は、古くより非常に密接な関係をもつ
てきました。また双方にとって「和紙」も無くてはならない存
在です。今回は協賛団体の〈紙守財団〉より、絵画の
基底材として精良な紙(純楮和紙、中国宣紙)をご提
供いただきました。

広くつながる文化の未来にむけて、学生たちにはこの
紙を使用しての制作に取り組んでももらいました。

【一般財団法人 世界紙文化遺産支援財団 紙守】

<https://www.kamimorifoundation.com>

|| 東京藝術大学



大嶋 直哉

石塚 利郎



久保田 木都

高橋 直樹



島田 滋

平井 敏



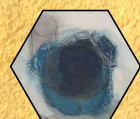
角谷 紀章

吉野 茂義



中野 貴文

金子 治雄



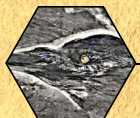
渡邊 美波

深谷 哲



勝又 優

稲崎 昌仁



澤田 燈

石塚 利郎



砂長 正宗

星野 裕孝



築井 渚

野口 隆行



李 雨晨

平井 敏



Timothy
Betjeman

鈴木 正人

|| 女子美術大学



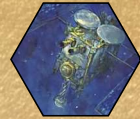
王 睿

関口 幸喜



徐秀晶

キャサリン



三浦 茉莉子

日野 正恵



大石 日向子

稲崎 昌仁

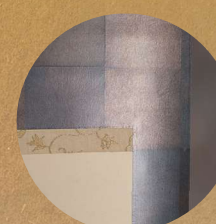
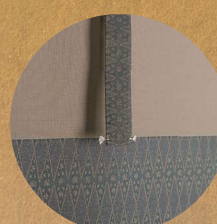


小俣 花名

広川 淳

|| 武蔵野美術大学

美大生×表具師



|| 多摩美術大学



小井 風花

阿部 行伸



加藤 鈴葉

神山 晃一



佐藤 理紗

鈴木 正紀



竹本 明梨

田村 健太郎



南雲 未希

春原 敏雄



村田 遥香

野口 隆行



尾崎 菜花

石川 徳和



小林 明日香

野口 麻里子



高橋 優介

吉野 茂義



張 静雯

阿部 崇



村田 和音

高橋 直樹



柳田 佳子

野和田 悦弘

|| 東京造形大学



朝永 賢弥

武笠 敦史



高久 秀美

江原 望



吉野 萌

石井 高弘



井上 将大

小宮山 健夫



長嶺 高文

南部 秀彦



作家
表具師